

【担当教員名】 小林暁作	対象学年 2	対象学科 理学
	開講時期 前期	必修・選択 必修
	単位数 2	時間数 30

<一般目標：G I O>

障害を正確に認識する手段として検査測定及び評価は、理学療法を進める上で重要なプロセスである。つまり理学療法評価は、患者の総合的な情報収集であり、正確な検査測定・評価を通じて、はじめて適切な目標設定と治療プログラムが導かれる。本授業では、各種検査方法の基礎的な知識を整理し学習する、必要に応じて実習を組み込み、技術の習得も行う、ことを目標とする。

<行動目標：S B O>

1. 評価の概要（目的、過程、対象など）について理解する。
2. 評価記録の方法、病歴聴取について理解する。
3. 各種評価法について学習し基本技術を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	評価とは（目的、過程、対象）	1	講義 小林
2	病歴の取り方	2	講義 小林
3	評価記録の方法	2	講義 小林
4	身体計測	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
5	＃	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
6	感覚検査・反射検査・脳神経検査	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
7	＃	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
8	＃	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
9	協調性検査	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
10	＃	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
11	筋緊張検査	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
12	＃	3	講義・実習 小林（古西・相馬）
13	関節可動域検査（総論・夏期中の課題）	3	講義 小林
14	筋力検査（総論・夏期中の課題）	3	講義 小林

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	理学療法評価学	松沢 正著	金原出版	1998年 6200円
	新・徒手筋力検査法（Muscle Testin 6th）	津山直一訳	協同医学書出版	1996年 6695円
	ベッドサイドの神経の診方	田崎義昭・他著	南山堂	1994年 7200円
参考書	Muscle Testing and Function (4th)	F.P Kendal Williams & Wilkins		1993年 10658円
	理学療法評価学	内山 靖編	医学書院	2001年 5800円
その他の資料				

【評価方法】 出席、レポート、期末試験、その他	【履修上の留意点】 実技できるような服装で出席すること（4回～14回）
----------------------------	--